

KoKoRoの窓

2017年
明けまして
おめでとう
ございます。



2017年1月 第1号
早いもので、開業して一年がたちました。何をしているのかもわからない状態で、時が過ぎ去った感じです。今年は、イベントや日常的な業務の中で、しっかりと情報と提案をご提供してまいります。今年もどうぞよろしくお祈りいたします。

=木のおもちゃへのこだわり=

おもちゃには様々な素材があります。その中で木は、人の肌にちかい「ぬくもりと心地よさ」を皆さんかじられるのではないのでしょうか。昔から、木は生き物と言われ、釘を使わずに、何百年も耐える建築物を木で作っています。また、同じ木の素材でも、種類によって、肌触りが違います。用途に応じて、その違いを感じ取ることもできます。

もちろん全て木がいいというわけではなく、遊びにとってふさわしい、紙や布、プラスチックやブリキのような素材も必要になります。

食べ物や体にとって大切なものであると同様に、玩具は、心に大きな影響を及ぼします。だからこそ、安易に与えず、よく考えて与える必要があります。



キャラクター玩具や流行玩具を与えなければ、仲間はずれにならないか心配という人もいますが、それよりも、一人で遊ぶ玩具に慣れてしまっている子ども達のは、他の人とうまく接することができなくはありませんか。また、キャラクターをつけるだけで、キックやパンチが始まったりします。周りの子ども達を見ていると本当にそう思います。

玩具には、主食であるようなものもあれば、お菓子のようなキャラクター玩具や流行玩具もあります。コンピューター玩具や電気で動く玩具は、ジャンクフードのような側面を持っています。それに対して、積み木やブロック、手で動かすおもちゃは、主食のおもちゃだと言われています。



時には、栄養価を度外視して楽しむことや非日常を楽しむことを否定はしません。実際に、自分の子どもも、友達の家に行くとTVゲームなどをさせてもらっていたようです。しかし、非日常が日常になってしまっただけは、子どもの心に大きな陰を落とす結果になるということを心にとどめておくことも必要です。スマートフォンやインターネットが非日常から日常的になってしまったとき、そこから得られる利益以上に失われるものは大きいものがあることを忘れてはいけません。私たち大人も、大きく影響を受けていることは間違いありません。

=木のおもちゃは何がいいの？=

木のおもちゃは、まず、シンプルです。シンプルだからこそ、想像力が必要とされます。また、そこには、人と人との会話が生まれます。人と人



が交わるのが何よりの栄養になることを忘れてはいけません。おもちゃは与えるものではなく、一緒に楽しむものです。お店に来ていただいた人は、おわかりだと思いますが、大人が楽しめるもの、それがおもちゃです。それを子どもさんやお孫さんと共有することが何よりの栄養となります。そして、イマジネーションをふくらませないと楽しめないものが多くあります。子ども達は、思いを巡らせ、想像力を働かせます。コンピューターゲームやスマートフォンに慣れてしまっている子ども達は、はじめは、積み木に興味を示さないこともあります。

子どもの遊びは、日常生活によって変わります。

成人病が食事でコントロールできるように。見ているTVによっても、遊び方が変わることは、皆さん体験されていることだと思います。

さらに、創造性が培われます。その代表が積み木かもしれません。子ども達は、創造性を膨らませながら、大きく成長をしています。

そして、おもちゃを通して癒やされる。木のおもちゃは、多くの方が心地よさを感じ、癒やし効果が高いことは皆様が実感していただけていると思います。

* 「衛生面で心配だ」という方。固く絞ったタオルで拭いたり、アルコール綿などで、拭き取った後、数十秒もすれば完全に乾燥します。

* 木の塗料が心配という方。全く心配ありません。厳しい食品衛生法の基準を通ったものです。

* 木は投げたりすると危ない！という方。遊び方を是非教えてあげてください。与えるだけでは、おもちゃの意味も半減します。

何よりも、お母さんやお父さん・子ども達と一緒にいる周りの大人の皆様が楽しんでください。

(写真は、1月のセール品から)